

※令和5年度分については、調査対象時点(令和4年度末時点)で予定していた内容を掲載。

No	計画・条例名	市民参加手法	実施名称	目的 (期待する効果)	実施期間 (予定を含む)	参加者数 (令和5年度実施予定分は「-」としている)	備考 (課題・工夫点等)	部	課
1	八王子未来デザイン2040	アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	長期ビジョン策定に向けた市民アンケート調査	市民の日常生活実態、市民自身の現在と将来に関する認識、本市の現在と将来に関する認識を把握し、長期ビジョンの策定に向けた議論の基礎資料とする。	令和3年1月	発送数 5,000名 回収数 2,418名	回答方法を紙媒体だけでなく、Webでも回答可能とした。礼状兼督促状を送付し、未回答の市民に対して回答を促した。	未来デザイン室	-
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	長期ビジョン策定に向けたWEBアンケート調査	同上の目的に加え、SNS等を通じてアンケートへの回答を呼びかけることで、若い世代からの意見を多く取得することを期待する。	令和3年3月	1,037名	市内の高校(19校)に対し、アンケートの回答協力を依頼した。八王子商工会議所及び八王子観光コンベンション協会にアンケートへの協力依頼を呼びかけた。		
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	長期ビジョン策定に向けたふるさと納税者WEBアンケート調査	市外在住者から見た本市の魅力や力を入れた方が良い点を把握し、長期ビジョン策定の参考にする。	令和3年4月～令和4年1月	32名	案内状に二次元コードを貼付することで、アクセスの利便性を高めた。		
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	長期ビジョン策定に向けた小・中学生アンケート調査	次代を担う当事者である小学生・中学生の「将来に関する認識・考え」を把握し、長期ビジョン策定に反映する。	令和3年6月～令和3年7月	小学生 7,038名 中学生 8,061名	GIGAスクール構想で配布した端末によるWebアンケート方式を採用し、回答の際の負担軽減を図った。		
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	八王子未来デザイン2040の運用に関する市民アンケート調査	「八王子未来デザイン2040」に設定する数値目標及び重要業績評価指標(KPI)のうち、市民に回答を求める必要のあるデータの現状値等を把握する。	令和4年9月～10月	発送数 5,000名 回収数 2,134名	Webでの回答フォームを設け、郵送・Webどちらでも好きな方で回答いただけるようにした。		
		ワークショップ	高校生ワークショップ	次世代を担う当事者である高校生の意見を長期ビジョンに反映させる。高校生のまちづくりへの意識及び郷土愛を醸成・高揚する。	令和2年10月、11月	29名	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、zoomによるオンライン開催とした。		
		ワークショップ	大学生ワークショップ	次世代を担う当事者である大学生の意見を長期ビジョンに反映させる。大学生のまちづくりへの意識及び郷土愛を醸成・高揚する。	令和2年10月、11月	34名	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、zoomによるオンライン開催とした。		
		審議会等	「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040」懇談会	素案(案)に対し、学識経験者をはじめとした委員から、専門的視点による意見等をもらい、素案の策定の参考とする。	令和3年9月、10月、11月、12月、令和4年1月、2月、3月	参加者数16名(学識経験者5名、関係団体推薦者5名、公募市民2名など)	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、Teamsによるオンライン開催とした回を設けたほか、通常開催時も希望者はオンライン参加可能とした。		
		パブリックコメント手続	長期ビジョン(素案)についての意見募集	長期ビジョン(素案)について、広く周知を行い、幅広く意見を求める。	令和4年1月～2月	69名	周知用の啓発映像を作成し、YouTubeに掲載したほか、J:comのタウンナビで放映することで多くの市民に関心を持っていただけるよう試みた。		
パブリックコメント手続	長期ビジョン(原案)についての意見募集	八王子未来デザイン2040(原案)について、広く周知を行い、幅広く意見を求める。	令和4年9月～10月	32名					
2	第2期八王子市多文化共生推進プラン	審議会等	多文化共生推進評議会	学識経験者、各種団体、市民委員による議論を通して、プランについての合意形成を図り、素案をまとめる。	策定期間中に6回開催(令和3年6月、令和4年1月、6月、7月、9月、令和5年2月)	委員数10名(学識経験者1名、町会自治会連合会推薦1名、八王子商工会議所推薦1名、八王子国際協会推薦1名、日本語学校推薦1名など)	市政モニターへのアンケート、外国人市民アンケート調査を踏まえて多文化共生推進評議会での検討を行うことで、日本人市民、外国人市民の意識を広くとらえた議論を進めることができた。	市民活動推進部	多文化共生推進課
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	多文化共生のまちづくりについて(市政モニター)	本市がめざす「多文化共生のまちづくり」について、幅広い年齢層の市民に意見を求めることができる市政モニターを利用した。	令和3年9月	対象者 市政モニター100名 回収数 95名			
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	外国人市民アンケート調査	外国人市民が生活する上で困っていることや不安に思っていることなどを、外国人市民を取り巻く課題を把握するため、アンケート調査を行った。	令和3年10～11月	発送数 1,000名 回収数 200部	・外国人の国籍等を踏まえ、アンケートを日本語のほか、英語・中国語・韓国語、スペイン語、ベトナム語で実施。Web回答も可とした。 ・外国人市民アンケート調査の回収率の低さなど、外国人市民からの意見の聴取に課題がある。		
		パブリックコメント手続	第2期八王子市多文化共生推進プラン(素案)についての意見募集	プラン(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和4年11月～12月	6名			

※令和5年度分については、調査対象時点(令和4年度末時点)で予定していた内容を掲載。

No	計画・条例名	市民参加手法	実施名称	目的 (期待する効果)	実施期間 (予定を含む)	参加者数 (令和5年度実施予定分は「-」としている)	備考 (課題・工夫点等)	部	課
3	八王子市男女共同参画推進条例	審議会等	(仮称)八王子市男女共同参画推進条例制定検討会	学識経験者、各種団体、公募市民による議論を通して、条例についての意見聴取を行い、素案をまとめる。	策定期間中に6回開催(令和3年5月・7月・11月・12月、令和4年2月・5月)	参加者数12名(学識経験者2名、人権擁護委員1名、関係機関・団体から推薦された者7名、公募市民2名)		市民活動推進部	男女共同参画課
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	男女共同参画推進に向けた各主体との意見交換会、アンケート調査	市内事業者、八王子LINE登録市民、学童保育所入所者の保護者、男女共同参画センター主催講座参加者等から、男女共同参画に関する取組や課題などについて調査を行い、条例制定後の具体的な施策につなげる。	①令和3年4月 ②令和3年5月 ③令和3年5月～6月 ④令和3年9月～10月 ⑤令和4年1月 ⑥令和4年1月	①新人職員アンケート102名 ②事業者アンケート26社 ③学童保育所アンケート491名 ④事業者アンケート109社 ⑤市内企業との意見交換会11社 ⑥地域活動経験のある若者との意見交換会13名	地域活動経験のある若者との意見交換会は大学卒業後に市外に出られた方も多いため、Zoomによるウェブ会議とした。		
		パブリックコメント手続	「(仮称)八王子市男女共同参画社会の実現を目指す条例」の素案についての意見募集	条例(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和4年4月～5月	76名、2団体	・SNSによる周知を行った。 ・男女共同参画情報紙「ぱれっと」(広報はちおうじ特集号)の市内全戸配布等により広く周知した。		
4	第2期八王子市消費生活基本計画 八王子市消費者教育推進計画	アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	消費生活に関する市民意識・実態調査	市民の消費生活行政に対する意見や現状の意識・実態を広く調査し、計画改定の参考とする。	令和4年7月～10月	発送数 3,000名 回収数 1,423名	市民意識・実態調査の質問内容や分析に、審議会委員の意見を取り入れた。	市民部	消費生活センター
		審議会等	消費生活審議会	学識経験者、各種団体、市民委員による議論を通して、計画の延長についての合意形成を図り、追補(素案)をまとめる。	令和4年6月～令和6年2月	委員数10名(学識経験者2名、市民委員3名、事業者2名、その他市長が必要と認められた者3名)	審議会委員の意見を引き出すため、具体的な目的、目指す方向性の事前説明とそれに対する委員の考え方を聞き出すことを丁寧に行った。		
5	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画	アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	・日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定(地域診断)に資する。 ・高齢者計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。	令和4年10月～11月	発送数 10,462名 回収数 8,390名	・アンケートの回答率が分析の精度にも関連してくるため、回答率を上げることが課題となっている。 ・市民へのアンケート調査を踏まえて計画策定部会での検討を行うことで、市民の意識を広くとらえた議論を進めることができる。	福祉部	高齢者いきいき課
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	在宅介護実態調査	高齢者計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。	令和4年12月～令和5年2月	発送数 800名 回収数 463名			
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	介護事業所調査	高齢者計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。	令和4年12月～令和5年1月	発送数 618事業所 回収数 351事業所			
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	在宅生活改善調査(ケアマネジャー調査)	高齢者計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。	令和5年3月	発送数 149事業所、ケアマネジャー465名 回収数 122事業所、ケアマネジャー381名			
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	市民意識調査	高齢者計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。	令和5年7月	-			
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	高齢者あしん相談センター調査	高齢者計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。	令和5年8月	-			
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	・日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定(地域診断)に資する。 ・高齢者計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。	令和5年10月	-			
		審議会等	高齢者計画・介護保険事業計画策定部会	学識経験者、各種団体、市民委員による議論を通して、計画についての合意形成を図り、素案をまとめる。	策定期間中に7回開催予定(令和5年2月、4月、7月、8月、9月、11月、令和6年2月)	委員数17名(学識経験者2名、福祉関係者4名、保健医療関係者3名、介護保険サービス事業者3名、地域関係者2名、市民委員3名)			
パブリックコメント手続	高齢者計画・第9期介護保険事業計画(素案)についての意見募集	計画(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和5年12月～令和6年1月	-					

※令和5年度分については、調査対象時点(令和4年度末時点)で予定していた内容を掲載。

No	計画・条例名	市民参加手法	実施名称	目的 (期待する効果)	実施期間 (予定を含む)	参加者数 (令和5年度実施予定分は「-」としている)	備考 (課題・工夫点等)	部	課
6	健康医療計画	審議会等	八王子市保健医療計画推進会議	「八王子市保健医療計画」(以下「計画」という。)を円滑かつ計画的に推進するとともに、八王子市における保健医療に関して総合的な見地から意見交換を行うため、八王子市保健医療計画推進会議を開催する。	令和4年度:3回実施(7月・8月・11月) 令和5年度:4回実施予定	委員数13名 (学識1名、市民委員2名、各種団体10名)	幅広い意見を求めるために、様々な団体からの委員構成とした。	健康医療部	健康医療政策課 保健総務課
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	第4期八王子市保健医療計画及び第2期八王子市がん対策推進計画策定に係る市民意識調査	市民の健康に関する意識・行動等を把握し、保健医療計画の策定骨子、施策展開に反映するため。	令和4年10月～11月	発送数 5,000名 回収数 2,660名	・調査期間中に協力御礼兼督促ハガキを送付し回収率の向上に努めた。 ・同時期に改定予定の「がん予防推進計画」と合わせて実施することにより、効率的かつ効果的に取り組むことができた。		
		パブリックコメント手続	第4期八王子市保健医療計画(素案)について	計画(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和5年12月～令和6年1月	-			
7	第2期八王子市がん対策推進計画	アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	第4期八王子市保健医療計画及び第2期八王子市がん対策推進計画策定に係る市民意識調査	最近の社会情勢を踏まえた市民の意識・行動・満足度等を把握することにより、計画の策定骨子、施策展開に反映させる。	令和4年10月～11月	発送数 5,000名 回収数 2,660名	・調査期間中に協力御礼兼督促ハガキを送付し回収率の向上に努めた。 ・同時期に改定予定の「がん予防推進計画」と合わせて実施することにより、効率的かつ効果的に取り組むことができた。	健康医療部	成人健診課
		審議会等	策定専門懇談会	学識経験者、医療関係者、市民による議論を通して、計画についての合意形成を図り、素案をまとめる。	策定期間中に3回開催 (令和5年7月、10月、令和6年1月)	参加者数8名(学識経験者1名、医療関係者4名、市民公募1名、市関係者2名)			
		パブリックコメント手続	第2期八王子市がん対策推進計画の素案について	素案について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和5年12月～令和6年1月	-			
8	第2期八王子市自殺対策計画	審議会等	八王子市自殺対策検討会議	学識経験者、各種団体、市民委員の意見を次期計画に反映させる。	令和4年6月、令和5年2月、5月、7月、8月、令和6年1月	委員数15名(学識経験者1名、医療関係者2名、市民委員1名ほか)		健康医療部	保健対策課
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	「こころの健康づくりに関する市民意識調査」	自殺対策計画の改定にあたり、意識把握と課題を明らかにする。	令和4年10月	発送数 3,000名 回収数 1,144名	・市民アンケート調査は、テーマにより回答率が低くなってしまうため、設問数を減らすなど、回答しやすくする工夫が必要と考えている。 ・市民意識調査を踏まえて計画策定を行うことで、現状の課題を把握・反映した検討を進めることができています。		
		パブリックコメント手続	八王子市自殺対策計画	プラン(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和5年12月～令和6年1月	-			
9	八王子市高校生等医療費助成条例	審議会等	社会福祉審議会児童福祉専門分科会	学識経験者、各種団体、市民委員から意見を聞き、高校生等医療費助成制度実施についての合意形成を図り、条例案をまとめる。	令和4年8月	委員数18名	・制度の概要について、理解が容易にできるように丁寧な説明文を作成し委員に送付した。 ・社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催に合わせ、時間の限られている中で、審議会委員から事前に意見を聴取した。 ・政策決定から条例制定まで期間が短い中で、より効果的・効率的な市民参加手法が必要。	子ども家庭部	子育て支援課
10	八王子市産業イノベーションプラン～Beyond2030～ 八王子市産業イノベーション条例	パブリックコメント手続	「八王子市産業イノベーションプラン～Beyond2030～」及び「(仮称)八王子市産業イノベーション条例」の素案についての意見募集	プラン(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和4年10月～11月	2名	・市内企業訪問や、市外の先進事例を幅広く情報収集するとともに、学生や企業関係者の意見を拾うため、可能な限り多くの意見交換の場を設定した。 ・パブリックコメントについては、意見提出件数が少なかったため、産業分野においては、自ら積極的に市内事業者等の課題を拾いに行くことが重要であった。	産業振興部	産業振興推進課
		ワークショップ アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	プラン策定に向けた研究会	他企業からも様々な現状やニーズを把握することで、効果的なプランの策定を進める。	令和3年6月～令和4年10月	集計なし (研究会は、市職員、多摩大学総合研究所職員、企業等有志メンバーで構成)			
11	タヤけ小やけふれあいの里リノベーション基本方針	審議会等	「タヤけ小やけふれあいの里リノベーション基本方針策定支援業務委託」公募型プロポーザルに関する懇談会	「タヤけ小やけふれあいの里リノベーション基本方針策定支援業務委託」の委託業者の選定にあたり、庁内関係者や外部有識者の意見を聴取した。	令和4年5月	参加者数5名(庁内事業関連部署3名、外部有識者2名)		産業振興部	観光課
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	「タヤけ小やけふれあいの里の魅力」と「アウトドアレジャーへの関心」について(市政モニター)	施設のリノベーションの方向性検討の際の参考とするため、幅広い年齢層の市民に意見を求めることができる市政モニターを利用した。	令和4年8月	対象者 市政モニター100名 回収数 100名			
		その他	タヤけ小やけふれあいの里の未来を一緒に考えるオープン会議	パブリックコメント実施に先立ち、タヤけ小やけふれあいの里の今後の動きを市民や関係者と共有し、意見を収集するためのイベントを開催した。	令和5年1月	53名	・公民連携による公共空間のつくり方において実績のある馬場正尊氏による基調講演を実施した。 ・地域で活躍する方々を交えたトークセッションを実施した。 ・参加型パネルによる情報・意見交換を実施した。		
		パブリックコメント手続	「タヤけ小やけふれあいの里リノベーション基本方針(素案)」の意見募集	基本方針(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和5年2月～3月	3名			

※令和5年度分については、調査対象時点(令和4年度末時点)で予定していた内容を掲載。

No	計画・条例名	市民参加手法	実施名称	目的 (期待する効果)	実施期間 (予定を含む)	参加者数 (令和5年度実施予定分は「-」としている)	備考 (課題・工夫点等)	部	課
12	八王子市地球温暖化対策地域推進計画	審議会等	環境推進会議	環境市民会議、公募市民、庁内委員による議論を通して、素案に対して意見を求める。	策定期間中に2回開催 (令和3年8月、令和4年8月)	委員数21名(環境市民会議代表12名、公募市民委員3名、庁内委員7名)		環境部	環境政策課
		審議会等	環境審議会	学識経験者、各種団体、市民委員による議論を通して、計画についての合意形成を図り、素案をまとめる。	策定期間中に3回開催 (令和3年11月、令和4年6月、令和5年1月)	委員数15名(学識経験者7名、市民委員3名、事業者3名、関係行政機関の職員2名)	・市民委員は環境保全団体、環境カウンセラー、町会自治会連合会からの選出と、様々な視点から意見を求めた。 ・環境に関心が高い市民が参加したことにより、市の施策に対して様々な観点からの意見が出され、議論を進めることができた。 ・学識者や事業者がそれぞれの立場で温暖化対策について議論を進めることができた。		
		パブリックコメント手続	地球温暖化対策地域推進計画(素案)についての意見募集	地球温暖化対策地域推進計画(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和4年10月	29名	事業者からの意見を聴取できるように、企業訪問時にパブコメ実施について案内を行った。		
		その他	地球温暖化対策地域協議会	地球温暖化対策地域協議会委員による議論を通して、素案に対して意見を求める。	策定期間中に2回開催 (令和3年11月、令和4年8月)	委員数14名(八王子市町会自治会連合会1名、八王子商工会議所1名、事業者3名、大学コンソーシアム1名、東京都地球温暖化防止活動推進センター1名、環境推進会議1名、地球温暖化防止活動推進員4名、事務局1名、八王子市1名)	・環境に関心が高い市民が参加したことにより、市の施策に対して様々な観点からの意見が出され、議論を進めることができた。 ・学識者や事業者がそれぞれの立場で温暖化対策について議論を進めることができた。		
13	八王子市ごみ処理基本計画	審議会等	ごみゼロ社会推進協議会	各種団体、町会・自治会代表者による議論を通して、プランについての合意形成を図り、素案をまとめる。	策定期間中に8回開催 (令和4年5月、7月、10月、12月、令和5年2月、5月、9月、令和6年1月)	委員数14名(町会・自治会の代表者3名、廃棄物減量・再利用推進員等の代表2名、その他各種団体代表者9名)	例年より回数を増やし、計画改定進捗状況に合わせて開催することで、多くの意見をいただいた。	資源循環部	ごみ減量対策課
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	ごみの減量・資源化等の取組に関するアンケート調査へのご協力をお願い	本市で実施しているごみ減量・資源化に関する取組内容等について広くご意見を伺い、計画を検討するための基礎資料として活用する。	令和5年4月～5月	-	年齢と性別でカテゴリー分けしたうえで、無作為抽出し、幅広い世代から意見をいただくことを意識した。また、郵送だけでなくWeb回答を追加したことや、回答時間も考慮し、回収率向上を図った。		
		パブリックコメント手続	循環型都市八王子プラン「仮称」(素案)についての意見募集	プラン(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和5年10月	-			
14	まちづかい計画	ワークショップ	まちをつかおうプロジェクト	「あつまれ かしまつの丘」が母体となり、地域様々な課題解決を念頭に置きながら、鹿島・松が谷地域をフィールドとしてまちを使ってみようという趣旨を支援する。	令和3年7月、8月、9月、10月	91名	・ワークショップ等は回数を重ねると参加者が固定化されるため、新規参加者が途中から参加するのが難しい。また、参加者のモチベーションを維持するのが難しい。	都市計画部	都市総務課
		その他	あつまれ かしまつの丘	住民主体の取組みの支援を通じ、課題の共有やまちづくりの当事者としての意識醸成を図る。	令和3年4月、5月、6月、7月、11月、12月、令和4年2月、3月、4月、5月	165名	・地域のまちづくりワークショップに参加した住民のうち、継続的に今後のまちづくりに参加を希望する人で立ち上げた。		
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	かしまつRe:Live鹿島・松が谷地域のまちをつかうための実証実験	公園や遊歩道等のストックを「つかう」ことに重点を置き、住民等によるまちをつかう活動やストックの望ましい使われ方を、公園や空き店舗など鹿島・松が谷地域をフィールドとして、検証する。	令和3年10月	1,464名			

※令和5年度分については、調査対象時点(令和4年度末時点)で予定していた内容を掲載。

No	計画・条例名	市民参加手法	実施名称	目的 (期待する効果)	実施期間 (予定を含む)	参加者数 (令和5年度実施予定分は「-」としている)	備考 (課題・工夫点等)	部	課
15	北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想	審議会等	北野下水処理場・清掃工場跡地活用構想策定懇談会	導入機能やゾーニング、その他基本構想の策定に関して必要となる事項について、有識者の意見を聴取するため。	令和4年5月～令和5年1月(全4回)	参加者数5名	簡潔な資料とともに論点を明確にし、短い時間で濃い議論ができるよう工夫した	都市計画部	土地利用計画課
		その他	北野清掃施設・下水施設関係町会連絡協議会	跡地周辺の関係町会に対し、経過等を報告するため。	令和4年7月、令和5年3月	15名			
		パブリックコメント手続	北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想(素案)について	下水処理場や清掃工場など、都市の暮らしを支えてきた北野地区の跡地活用方法について、意見を聴取するため。	令和5年3月～4月	22名			
		公聴会、説明会	北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想(素案)説明会	基本構想(素案)の理解を促進するため。	令和5年3月	5名	簡潔な資料とともに論点を明確にし、短い時間で濃い議論ができるよう工夫した		
		ワークショップ	まちづくりワークショップ	令和5年6月に策定した基本構想をもとに、公共空間の使い方などを検討するため。	令和5年7月～9月(全3回)	-	国土交通省が行う3次元都市モデル整備事業のユースケース開発を行う民間事業者及び都立大学の協力のもと、従来の手法に加えXRなどの先進技術を活用することで、分かりやすい・楽しいという体験を通して、積極的かつ建設的な意見を言える場を整える		
16	都市計画マスタープラン	パブリックコメント手続	第3次都市計画マスタープラン(素案)について	改定案について多様なステークホルダーから意見を収集できる。	令和6年2月	-	【各手法共通】 ・計画に反映しやすい時期に市民参加を実施する ・本計画は専門的な内容であることから、一般市民には馴染みが薄い。都市計画への関心を高めるとともに、主体的にまちづくりに参加できる場を醸成することが課題。	都市計画部	土地利用計画課
		公聴会、説明会	都市計画マスタープランの改定について	対面で市民と密な意見交換ができる。	令和5年11月、令和6年2月	-			
		審議会等	都市計画審議会	都市計画の専門的見地から計画案の妥当性について意見を求めることができる。	令和5年11月、令和6年1月、5月	委員数16名	・簡潔な資料とともに論点を明確にし、短い時間で濃い議論ができるよう工夫する		
		審議会等	都市計画マスタープラン改定懇談会	都市計画の専門的見地から改定内容について意見を求めることができる。	令和4年度～令和5年度(6回程度)	参加者数5名	・簡潔な資料とともに論点を明確にし、短い時間で濃い議論ができるよう工夫する		
17	第2期八王子市中心市街地活性化基本計画	その他	中心市街地活性化協議会	中心市街地活性化基本計画及びその実施に関し必要な事項について協議し、また、関係主体が実施するまちづくり事業を横断的に調整することで、中心市街地活性化に寄与するため。	令和4年5月、7月、11月	構成員数31名 ・八王子商工会議所 ・八王子市中心市街地整備推進機構(一般財団法人八王子市まちづくり公社) ・八王子市 ・「中心市街地の活性化に関する法律」第15条第4項第1号および第2号、第8項に規定する者 ・その他協議会において特に必要があると認める者		拠点整備部	中心市街地活性化課
		パブリックコメント手続	八王子市中心市街地活性化基本計画(第2期)(素案)パブリックコメント	計画(素案)に対して幅広く市民の意見をもとめるため。	令和4年10月	4名			

※令和5年度分については、調査対象時点(令和4年度末時点)で予定していた内容を掲載。

No	計画・条例名	市民参加手法	実施名称	目的 (期待する効果)	実施期間 (予定を含む)	参加者数 (令和5年度実施予定分は「-」としている)	備考 (課題・工夫点等)	部	課
18	(仮称)八王子駅周辺地区屋外広告物地域ルール	ワークショップ	八王子駅周辺の未来の景観を考えるワークショップ	景観計画に定める重点地区の特性を活かした景観形成を推進するため、屋外広告物地域ルール等の検討を進めた。	令和3年3月、7月、11月、令和4年2月	65名	【各手法共通】 ・本市の中心市街地は範囲が広く、かつ利害関係者が多様なエリアであるため、幅広い層の市民がいつでも参加の機会を得られるよう、複数の方法を活用した。 ・不特定多数のイベントから始め、特定の参加者によるワークショップで検討を深めた。 ・さらに、特定の地区を対象とした協議(意見交換)や、学生協働のワークショップを通じて、より多くの市民の方へ発信・情報交換を行い、合意形成を進めている。 ・コロナウイルス感染症の影響で、対面式のワークショップ等の対応に苦慮した。参加者数をあまり増やせず、緊急事態宣言の度に開催を延期し事業が遅延した。 ・市民の気運醸成には、対面で直接話すことが有効であると実感した。 ・以上から、ワークショップ形式のオンライン(ハイブリッド)化の環境整備や、多様な方の意見を聴取するために有効な手法の調査研究など、さらなる知見を得たい。 【手法別】 ・広報やHPにて地区外の市民にも広く参加募集した。学生や商店会に個別に参加を募った。 ・コロナ禍の対応で、1回は職員向けとしたほか、オンラインによる参加手法も取り入れた。	まちなみ整備部	まちなみ景観課
		審議会等	八王子市景観審議会	学識経験者、各団体、公募市民委員からなる審議会に、地域ルールに係る「景観絵本」(景観のてびき案)を諮問した。	令和4年3月	委員数12名(学識経験者5名、団体代表市民委員2名、公募市民委員2名)	・コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面参加とオンライン参加のハイブリッド方式で実施した。		
		ワークショップ	地区別イベント、景観協議等	ワークショップ等における意見をふまえて作成した「景観絵本」をもとに、市民との意見交換(パーク音番街通り改修工事に係る適合協議①)や協働活動(アシナミドリ植樹イベント②)を行う。	①令和3年8月、令和4年3月、8月、12月 ②令和4年10月	①16名 ②24名	・令和3～4年に開催した「八王子駅周辺の未来の景観を考えるワークショップ」は中心市街地全体を対象としたが、地域ルールはより狭い地区ごとの検討が有効と考え、意欲のある地区別に引き続きワークショップを行った。		
19	第五次特別支援教育推進計画	審議会等	八王子市第五次特別支援教育計画策定会議	学識経験者、医療機関関係者、教育関係者、市民委員による議論を通して、計画についての合意形成を図り、素案をまとめる。	令和4年8月、9月、10月、11月、令和5年1月、2月	参加者数20名(学識経験者、医療関係者、教育関係者、市職員)	・会議にあたっては、委員各位に事前に資料を送付した。		
		パブリックコメント手続	八王子市第五次特別支援教育推進計画素案意見募集	計画(素案)について、幅広く意見を求めるとともに広く周知する。	令和4年12月～令和5年1月	19名	・集約した意見については、主旨がわかりやすいよう整理するとともに、項目別に分類し回答を示した。	学校教育部	教育指導課
		公聴会、説明会	特別支援教育シンポジウム	計画の取り組みを多くの人に周知し、特別支援教育の理解啓発を図るため	令和5年5月	-	・市民が直接参加できるシンポジウムを開催することで、策定した計画の実施に向けた理解啓発を図った。 ・時間の制約から、参加者からの質疑応答の時間を取ることができなかった。		
20	スポーツ推進計画改定版	審議会等	八王子市スポーツ推進審議会	学識経験者、各種団体、市民委員による議論を通して、計画についての合意形成を図り、素案をまとめる。	策定期間中に4回開催(令和5年8月、9月、1月、3月)	委員数14名(学識経験者2名、市民委員2名、スポーツ関係者6名、障害者スポーツ関係者2名、学校体育関係者2名)	・市政世論調査・市政モニターへのアンケート調査を踏まえて審議会での検討を行うことで、市民の意識を広くとらえた議論を進めていく。	生涯学習スポーツ部	スポーツ振興課
		アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	・市政世論調査 ・市政モニター	現計画の点検評価及び計画改定内容等を検討するに当たり、幅広い年齢層の市民に意見を求めることができる市政世論調査、市政モニター等を利用する。	・市政世論調査:令和3年5月、令和4年5月、令和5年5月 ・市政モニター:令和5年8月	【市政世論調査】対象者:市内在住在勤の満18歳以上の男女個人5,000人 【市政モニター】対象者:100名			